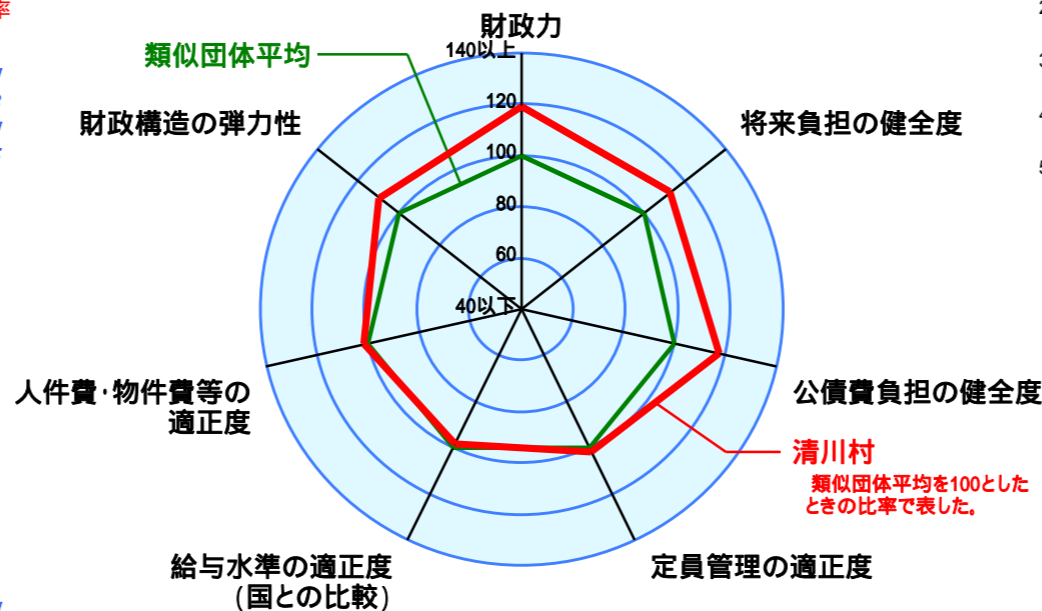
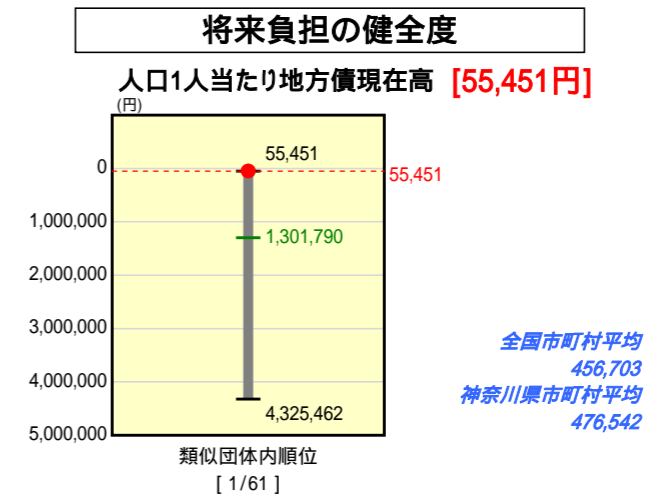
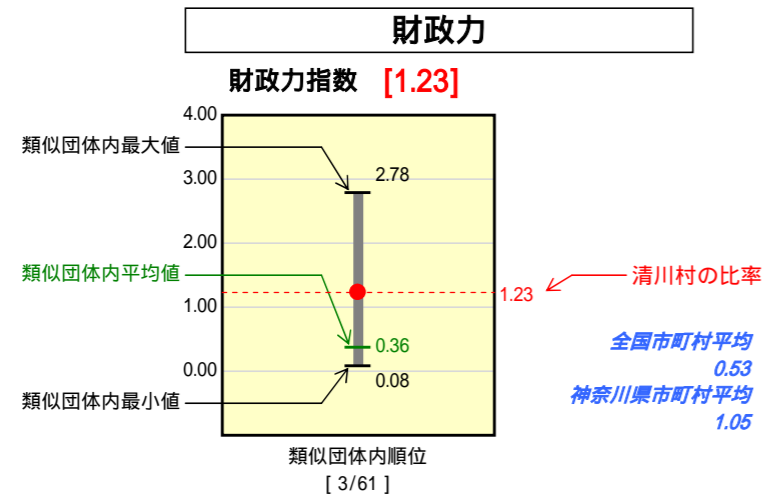


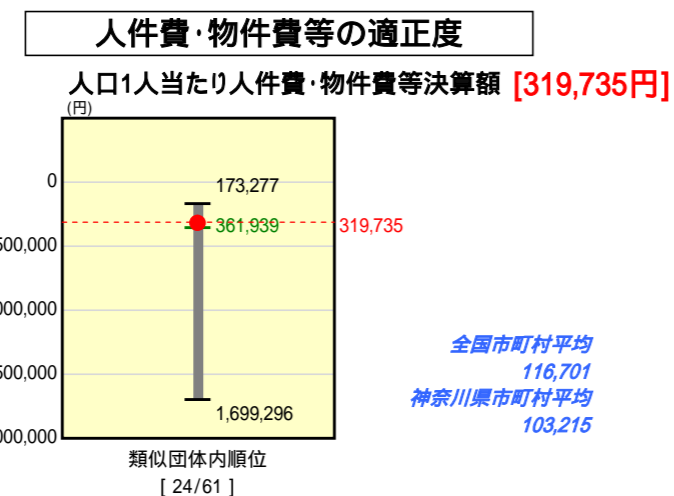
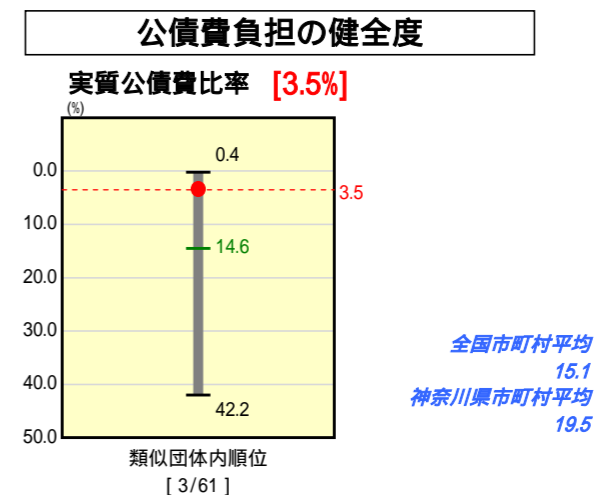
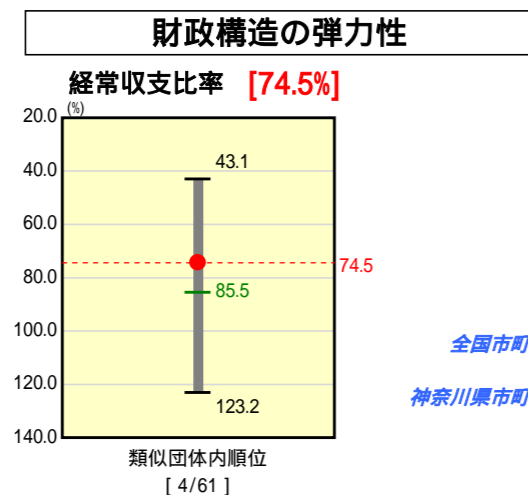
市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

神奈川県 清川村

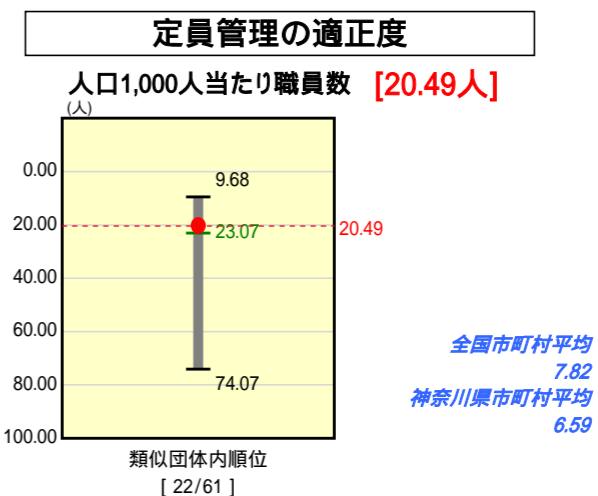
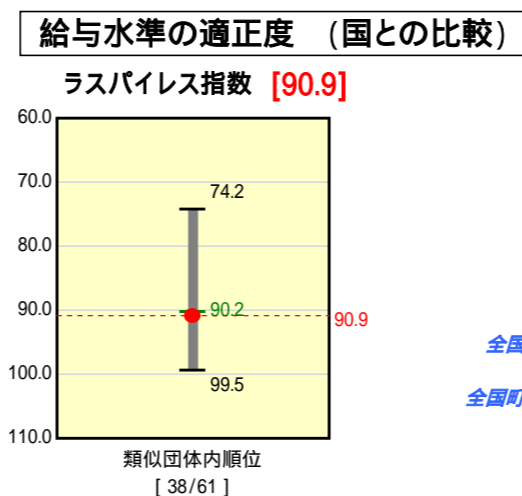
人口	3,319人	(H19.3.31現在)
面積	71.29	km ²
歳入総額	2,148,950	千円
歳出総額	1,874,520	千円
実質収支	82,826	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



分析欄

【財政力指数】 宮ヶ瀬ダムに伴う国有資産等所在市町村交付金が安定した財源となっており、類似団体の平均と比較しても高い財政力指数となっている。

【経常収支】 歳出比較分析表を参照。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】 類似団体平均に比べ低くなっているのは、専門分野における職員の補充以外は採用を抑制しているため、今後も定員適正化計画に基づき適正な職員管理に努めていく。

【人口1人当たり地方債現在高】 起債抑制の結果、人口1人当たり55千円という健全な状態を維持している。

【実質公債費比率】 起債の抑制に努めている。類似団体と比較して公債費の負担が非常に低く、健全度の高い状態を維持している。

【人口1,000人当たり職員数】 単に退職者補充を目的とした職員採用などは行わず、専門分野における職員の補充以外は採用を抑制するなど、今後も適正な職員管理に努めていく。

【ラスパイレズ指数】 職員構成の変動等の理由により1.3ポイントの増となった。類似団体と同じ水準にあり、今後も給与の適正化に努めていく。